

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

(1) 論文発表

1. Inomata S, Lu Y, Matsuyama S, Murakami Y, Tsuji I.
Association between education and disability-free life expectancy among Japanese older people: The Ohsaki Cohort 2006 study.
Archives of Gerontology and Geriatrics, 2024 Oct;125:105466. doi: 10.1016/j.archger.2024. 105466.
2. 辻 一郎.
健康日本 21 (第三次) は「2040 年問題」の克服に貢献できるか.
日本健康教育学会誌, 2024;32;S6-S7. <https://doi.org/10.11260/kenkokoiku.32.S6>
3. 辻 一郎.
健康日本～これまでの進化、これからの展望～.
厚生指標増刊 国民衛生の動向 2024/2025, 2024;71(9):95.
4. 辻 一郎.
総論 健康日本 21 (第三次)の基本的概念と新たな視点.
健康づくり, 2024;552:10-13.
5. Morohoshi H, Matsuyama Y, Zaito T, Oshiro A, Kondo K, Aida J.
Determining the most appropriate socioeconomic status indicator for describing inequalities in dental visits by Japanese older people.
Gerodontology, 2025;42(1):44-51. doi: 10.1111/ger.12755
6. Masuko S, Matsuyama Y, Kino S, Kondo K, Aida J.
Changes in leisure activity, all-cause mortality, and functional disability in older Japanese adults: The JAGES cohort study.
Journal of the American Geriatrics Society, 2025;73(2):470-481. doi: 10.1111/jgs.19264.
7. 相田 潤, 島田怜実, 増子紗代.
ロジックモデルと PDCA サイクルを用いた歯科口腔保健施策を考える.
保健医療科学, 2024;73(5):359-368. https://doi.org/10.20683/jniph.73.5_359
8. 相田 潤.
社会の変容のための健康教育：健康格差と歯・口腔の健康づくり.
日本健康教育学会誌 (招待原稿、査読中) .
9. Kikuchi H, Fukushima N, Amagasa S, Inoue S.
Temporal trends and projected daily step count from 213,924 pedometer data in a nationally representative Japanese population.
Medicine & Science in Sports & Exercise, 2025. In press
10. Tsuzuki A, Kamada M, Amagasa S, Kitayuguchi J, Miyashita T, Abe T, Gomi T, Okuyama K, Taguri M, Inoue S.
Two-year scale-up dissemination study of a multi-strategic community-wide intervention promoting physical activity: a single-arm pre-post hybrid effectiveness-implementation trial.
International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity, 2024 Nov 25; 21(1):131.
doi: 10.1186/s12966-024-01684-6.

11. 井上 茂, 菊池宏幸, 鎌田真光, 北湯口純, 都築 葵, 小熊祐子.
身体活動・運動分野のロジックモデルとアクションプランの例ー日常生活における歩数の増加ー.
日本健康教育学会誌, 2024;32:S75-S84. <https://doi.org/10.11260/kenkokyoiku.32.S75>
12. 菊池宏幸, 清野 諭, 野藤 悠, 植田拓也, 井上 茂.
身体活動・運動分野のロジックモデルとアクションプランの例ー運動習慣者割合の増加ー.
日本健康教育学会誌, 2024;32:S85-S93. <https://doi.org/10.11260/kenkokyoiku.32.S85>
13. 井上 茂, 菊池宏幸.
自然に健康になれる環境づくりーまちなかづくり.
日本医師会雑誌, 2024;153(1)55-58.
14. 井上 茂.
自然に歩数が増える環境づくり.
Aging & Health, 2024;33(2):16-20.
15. 岡村智教.
循環器病対策の目標とアクションプラン. 特集: 健康日本 21 (第三次) のねらいと戦略.
日本医師会雑誌, 2024;153;35-39.
16. 岡村智教.
循環器病. 健康日本 21 (第三次) の健康づくり戦略ー医療者へのメッセージ.
医学のあゆみ, 2025;292:608-611.
17. 中村正和, 片野田耕太, 道林千賀子, 齋藤順子, 島津太一.
たばこ対策のロジックモデルとアクションプラン (総論).
日本健康教育学会誌, 2024;32:S94-S101. <https://doi.org/10.11260/kenkokyoiku.32.S94>
18. 道林千賀子, 片野田耕太, 齋藤順子, 島津太一, 中村正和.
成人・妊婦の喫煙率減少のためのロジックモデルとアクションプラン.
日本健康教育学会誌, 2024;32:S102-S111. <https://doi.org/10.11260/kenkokyoiku.32.S102>
19. 齋藤順子, 島津太一, 片野田耕太, 道林千賀子, 中村正和.
職場のたばこ対策推進のためのロジックモデルとアクションプランの例.
日本健康教育学会誌, 2024;32:S112-S120. <https://doi.org/10.11260/kenkokyoiku.32.S112>
20. 片野田耕太, 道林千賀子, 齋藤順子, 島津太一, 中村正和.
たばこ対策のロジックモデルとアクションプランの例: 受動喫煙対策.
日本健康教育学会誌, 2024;32:S121-S130. <https://doi.org/10.11260/kenkokyoiku.32.S94>
21. Jamil H, Gilmour S, Katanoda K, Togawa K.
Regional disparities in Japan's progress towards the Health Japan 21 smoking reduction target.
Tobacco Control, 2025 Apr 17;tc-2024-059088. doi: 10.1136/tc-2024-059088.
22. Kuriyama K.
Social determinants of sleep quality: association between sleep quality and living environment among older individuals.
Sleep and Biological Rhythms, 2024;22(3):301-302. doi: 10.1007/s41105-024-00533-0

23. 栗山健一.
日本における睡眠健康の現状..
創刊 50 周年記念メディカル・サイエンス・ダイジェスト, ニューサイエンス社, 2024;50(11), 6-8.
24. 栗山健一.
健康づくりのための睡眠ガイド 2023 ―睡眠に関する新たな指針. 睡眠障害についてかかりつけ医が知っておきたいこと.
日本医師会雑誌, 2024;153(5):494-498.
25. Bouchi R, Izumi K, Ishizuka N, Uemura Y, Ohtsu H, Miyo K, Tanaka S, Satoh-Asahara N, Hara K, Odawara M, Kusunoki Y, Koyama H, Onoue T, Arima H, Tsushita K, Watada H, Kadowaki T, Ueki K.
Internet of things-based approach or glycemic control in people with type 2 diabetes: A randomized controlled trial.
Journal of Diabetes Investigation, 2024;15(9):1287-1296. doi: 10.1111/jdi.14227.
26. Hayase A, Onoue T, Nishida K, Nakata Y, Hayashi F, Marutani M, Sakane N, Okamura T, Matsuzaki K, Kawamura T, Tsushita K.
Influence of Previous Health Guidance History: Impact and Limitations of a Single Health Guidance Session.
Environmental and Occupational Health Practice, 2024;6(1):2024-0011-OA.
doi: 10.1539/eohp.2024-0011-OA. eCollection 2024.
27. Ihana-Sugiyama N, Sano K, Sugiyama T, Goto A, Hirata T, Ueki K, Tsushita K.
Evaluation of a program designed to prevent diabetic nephropathy aggravation: A retrospective cohort study using health checkups and claims data in Japanese municipalities.
Diabetes Research and Clinical Practice, 2024;215:111804. doi: 10.1016/j.diabres.2024.111804.
28. Wan J, Wakaba K, Onoue T, Tsushita K, Nakata Y.
Factors associated with acquiring exercise habits through health guidance for metabolic syndrome among middle-aged Japanese workers: A machine learning approach.
Preventive Medicine Reports, 2024;48:102915. doi: 10.1016/j.pmedr.2024.102915.
29. 津下一代.
健康日本 21 (第三次) のねらいと戦略: 糖尿病対策の目標とアクションプラン.
日本医師会雑誌, 2024;153(1):40-44.
30. 津下一代.
糖尿病分野の目標項目とアクションプラン.
健康づくり, 2024;559:10-13.
31. 津下一代.
糖尿病性腎症重症化予防プログラム改定のポイントと専門職に期待すること.
日本栄養士会雑誌, 2024;67(12):628-632.
32. 津下一代.
生活習慣改善治療食が血中脂質, リポ蛋白, 糖代謝指標, 血圧に与える影響: 臨床試験の系統的レビューとメタ解析.
Nutrition Reviews, 2024;82(2):176-192.

33. 津下一代.
広げよう！地域・職域連携.
健康づくり, 2024;560:2-7.
34. 津下一代.
第3期までの特定健康診査と特定保健指導の効果.
健診・人間ドックハンドブック改訂8版, 中外医学社, p20-30, 2024.
35. 津下一代.
特定保健指導.
健診・人間ドックハンドブック改訂8版, 中外医学社, p478-487, 2024..
36. 津下一代.
特定健診・保健指導を基盤にアウトカムを出す事業を目指す.
健康保険, 2025(2):10-11.
37. 津下一代.
糖尿病—予防と治療の切れ目ない対策で健康寿命延伸を目指す.
医学のあゆみ, 2025;292(8):612-616.
38. Sasaki N, Watanabe K, Kanamori Y, Tabuchi T, Fujiwara T, Nishi D.
Effects of expanded adverse childhood experiences including school bullying, childhood poverty, and natural disasters on mental health in adulthood.
Scientific Reports, 2024;14(1):12015. doi: 10.1038/s41598-024-62634-7.
39. Tsukinoki R, Murakami Y, Hayakawa T, Kadota A, Harada A, Kita Y, Okayama A, Miura K, Okamura T, Ueshima H for the NIPPON DATA90 Research Group.
Comprehensive assessment of the impact of blood pressure, body mass index, smoking and diabetes on healthy life expectancy in Japan: NIPPON DATA90.
Journal of Epidemiology, 2025 Jan 11. doi: 10.2188/jea.JE20240298.
40. 村山伸子.
栄養・食生活対策のロジックモデルとアクションプランの例：食塩摂取量の減少.
日本健康教育学会誌, 2024;32:S64-S74. <https://doi.org/10.11260/kenkokyoiku.32.S64>

(2) 学会発表

1. 辻 一郎.
健康日本 21 (第三次) と自然に健康になれる社会環境.
第 73 回東北公衆衛生学会, 仙台, 2024 年 7 月.
2. 辻 一郎.
健康日本 21 (第三次) とこれからの健康づくり戦略~2040 年問題へのチャレンジ~.
第 51 回北陸公衆衛生学会, 福井, 2024 年 11 月.
3. 辻 一郎.
健康日本 21 (第三次) と今後の健康づくり戦略.
第 20 回秋田県公衆衛生学会, 秋田, 2024 年 11 月.
4. 辻 一郎.
健康日本 21 におけるたばこ対策の意義.
第 34 回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 和光, 2025 年 3 月.
5. 相田 潤.
フッ化物洗口やフッ化物配合歯磨剤のさらなる展開: WHO やコクランライブラリーの解説を交えて.
第 73 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡, 2024 年 5 月.
6. 相田 潤.
8020 達成率改善で歯の喪失は減少? 医療ニーズの評価方法の変化とニーズ急増の実態.
第 83 回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024 年 10 月.
7. Aoi Tsuzuki, Kamada Masamitsu, Shiho Amagasa, Jun Kitayuguchi, Takuma Miyashita, Takafumi Abe, Tatsunosuke Gomi, Kenta Okuyama, Masataka Taguri, Shigeru Inoue.
Scaled-up study of a multi-strategic community-wide intervention promoting physical activity: a single-arm pre-post study.
The 10th International Society for Physical Activity and Health Congress (ISPAH), Paris, Oct 2024.
8. Noriko Takeda, Yukio Oida, Shigeru Inoue, Motohiko Miyachi.
Utilisation Situation of Physical Activity Guidelines in Policy Development and Implementation in Municipalities.
The 10th International Society for Physical Activity and Health Congress (ISPAH), Paris, Oct 2024.
9. 井上 茂, 菊池宏幸, 小熊祐子.
健康日本 21 (第三次) 推進のためのアクションプランを考えるワークショップー栄養・食生活、身体活動、たばこー [身体活動分野].
日本健康教育学会主催 健康教育学会ワークショップ, 東京, 2025 年 2 月.
10. 吉野友実子, 岡村智教.
日本高血圧学会「高血圧ゼロのまちづくり」モデルタウン事業を踏まえた市町村における「健康日本 21」の高血圧対策の推進: 汎用アクションプランの開発.
第 46 回日本高血圧学会総会, 福岡, 2024 年 10 月.

11. 片野田耕太.
たばこ分野の3つのアクションプランー健康日本 21（第三次）推進のためにー.
第 32 回日本健康教育学会学術大会，長野，2024 年 7 月.
12. 片野田耕太.
健康日本 21（第三次）にむけて実効性のあるたばこ対策に取り組むためにー受動喫煙対策の強化ー.
第 34 回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会，和光，2025 年 3 月.
13. 内海智博，吉池卓也，河村 葵，松井健太郎，栗山健一.
労働世代における週末の寝だめと死亡転帰の関連（縦断的検討）.
6NC リトリート，東京，2024 年 4 月.
14. 栗山健一.
高齢不眠の病態基盤の理解と治療戦略ー健康づくりのための睡眠ガイド 2023 の理解も含めて.
第 8 回日本老年薬学会学術集会（スポンサードシンポジウム），東京，2024 年 5 月.
15. 栗山健一，兼板佳孝.
「健康づくりのための睡眠ガイド 2023」の活用と今後の展開.
日本睡眠学会第 48 回定期学術集会，横浜，2024 年 7 月.
16. 栗山健一.
IoT やウェアラブルデバイスを活用した睡眠健康増進ー医療前段階を中心にー. 睡眠関連疾患における最良の Patient Journey を目指した IoT やデジタルデバイスの活用.
日本睡眠学会第 48 回定期学術集会，横浜，2024 年 7 月.
17. 栗山健一.
「健康づくりのための睡眠ガイド 2023」における高齢者の睡眠健康目標.
日本睡眠学会第 48 回定期学術集会，横浜，2024 年 7 月.
18. 河村 葵，羽澄 恵，岡邨しのぶ，伏見もも，吉池卓也，栗山健一.
職域における睡眠簡易健診、睡眠衛生指導の有用性.
日本睡眠学会第 48 回定期学術集会，横浜，2024 年 7 月.
19. 伏見もも，河村 葵，内海智博，吉池卓也，松井健太郎，都留あゆみ，伊豆原宗人，有竹清夏，栗山健一.
日本人における不溶性食物繊維摂取と睡眠休養感の関連.
日本睡眠学会第 48 回定期学術集会，横浜，2024 年 7 月.
20. 松井健太郎，志村哲祥，駒田陽子，岡島 義，橋本英樹，大橋由基，尾崎章子，栗山健一.
一般勤労者の平日の睡眠時間短縮に寄与する要因の縦断的検討.
日本睡眠学会第 48 回定期学術集会，横浜，2024 年 7 月.
21. 栗山健一.
「睡眠の質」と心身の健康. 睡眠医学の最新トピックスと総合病院精神医療での展開.
第 37 回日本総合病院精神医学会総会，熊本，2024 年 11 月.
22. 栗山健一.
「国民の睡眠健康目標に准じた精神疾患患者の睡眠治療の考え方」.
第 43 回日本社会精神医学会（ランチョンセミナー），東京，2025 年 3 月.

23. 栗山健一.
「健康づくりのための睡眠ガイド 2023」の概要・活用・発展.
第 26 回日本健康支援学会年次学術大会（メインシンポジウム），川崎，2025 年 3 月.
24. 津下一代.
健康日本 21（第三次）推進へ向けて～産業保健に期待されること～.
第 97 回日本産業衛生学会，広島，2024 年 5 月.
25. 津下一代.
健康日本 21（第三次）をはじめとする健康政策と日本運動疫学会・健康運動指導士等への期待.
第 26 回日本運動疫学会学術総会，佐久，2024 年 6 月.
26. 津下一代.
動脈硬化性疾患予防の観点から考える後期高齢者の保健事業のあり方.
第 56 回日本動脈硬化学会総会・学術集会（シンポジウム），神戸，2024 年 7 月.
27. 津下一代.
わが国のメタボリックシンドローム対策に関する歴史と現状，課題.
第 56 回日本動脈硬化学会総会・学術集会（シンポジウム），神戸，2024 年 7 月.
28. 津下一代.
コントラバシー糖尿病重症化予防における保健事業.
第 11 回 JADEC 年次学術集会，京都，2024 年 7 月.
29. 佐々木那津，渡辺和広，金森由晃，田淵貴大，藤原武男，西 大輔.
多様な子ども期逆境体験（Adverse Childhood Experiences: ACEs）が成人期のメンタルヘルスに与える影響：JACSIS 研究より.
第 120 回日本精神神経学会学術総会，札幌，2024 年 6 月.

(3) 報道・その他

1. 辻 一郎.
健康寿命をのばそう！健康日本 21 「減塩 社会と個人で取り組む」.
NHK きょうの健康, 2024 年 4 月 8 日.
2. 辻 一郎.
健康寿命をのばそう！健康日本 21 「野菜・果物のすごいチカラ」.
NHK きょうの健康, 2024 年 4 月 9 日.
3. 辻 一郎.
健康寿命をのばそう！健康日本 21 「女性の健康と骨粗しょう症」.
NHK きょうの健康, 2024 年 4 月 10 日.
4. 辻 一郎.
あなたは何歳まで生きたいですか.
仙台市医師会報, 2024;716:36-37.
5. 辻 一郎.
あなたは何歳まで生きたいですか.
札幌医通信, 2024;683:58-59.
6. 辻 一郎.
第 3 次健康日本 21 に基づく健康づくり：研究班が第 1 回「アクションプラン研修会」 800 人超参加 ロジックモデルとアクションプランを説明.
週刊保健衛生ニュース, 令和 6 年 11 月 4 日 (第 2281 号), p2-9.
7. 近藤克則, 辻 一郎, 村山伸子, 山縣然太朗.
健康日本 21 (第三次) のねらいと戦略. 特集：健康日本 21(第三次)のねらいと戦略 (座談会) .
日本医師会雑誌, 2024;153(1):5-16.
8. 井上 茂.
健康日本 21 (第三次) における身体活動・運動の目標.
eヘルスネット.
9. 栗山健一.
睡眠と健康 健康づくりのための睡眠の新常識.
賢者の休日, 49 号, 2024 年夏号.
10. 栗山健一.
睡眠と健康 健康づくりのための睡眠の新常識.
賢者の休日, 50 号 2024 年冬号.
11. 栗山健一.
睡眠障害. 一般疾患治療の最新情報. スーパードクターに教わる最善予防と最新治療 2025.
文藝春秋 文春ムック 特別編集, 2024;129:126-127.
12. 栗山健一.
睡眠休養感を高める快適睡眠ガイド. 自治体・健康保険組合・共済組合加入者配布用パンフレット,
2024 年 9 月 17 日.

13. 栗山健一.
睡眠改善で健康づくり 2. 睡眠時間と同じく大切な「睡眠休養感」－健康で効率よく働くために－.
地方公務員安全と健康フォーラム, 2024;127:28-29.
14. 栗山健一.
睡眠改善で健康づくり 3. 睡眠の質を高める生活習慣改善策 (1)－寝室環境と日中の生活習慣－.
地方公務員安全と健康フォーラム, 2024;128:28-29.
15. 栗山健一.
睡眠改善で健康づくり 4. 睡眠の質を高める生活習慣改善策 (2)－リラクゼーションと嗜好品－.
地方公務員安全と健康フォーラム, 2024;129:28-29.
16. 栗山健一.
満足度が上がる！55歳からの睡眠習慣.
リシャイン創刊号, 2024;1:60-61.
17. 栗山健一.
健康づくりのための睡眠ガイド 2023 で目指す「適切な睡眠時間」と「睡眠休養感」の科学的根拠.
特集 健康づくりのための睡眠ガイド 2023.
健康づくり, 2024;554:2-7.
18. 栗山健一, 吉池卓也.
いい睡眠で健康づくり.
社会保険出版社 リーフレット, 2024 年.
19. 栗山健一, 吉池卓也.
シニア・おとな・こどもの睡眠習慣.
社会保険出版社 リーフレット, 2024 年.
20. 栗山健一.
健康づくりのための睡眠ガイド 2023 で目指す「適切な睡眠時間」と「睡眠休養感」の科学的根拠.
特集 健康づくりのための睡眠ガイド 2023.
公衆衛生情報, 2024;54(2): 6-7.
21. 栗山健一.
【監修】良い眠りのためのポイント 成人版.
エーザイ, 2024 年 3 月作成.
22. 栗山健一.
【監修】良い眠りのためのポイント 高齢者版.
エーザイ, 2024 年 4 月作成.
23. 栗山健一.
【監修】良い眠りのためのポイント こども版.
エーザイ, 2024 年 5 月作成.
24. 栗山健一.
よい睡眠のためにできること 特集 心身の活力は睡眠から 睡眠ガイド 2023.
ヘルスアップ 21, 2024;474:12-15.

25. 栗山健一.

働く高齢者の“体の休養”を考える 特集 心と体の「休養」を考える.
エルダー, 2024;533: 15-18.

26. 栗山健一.

高齢者は8時間以上寝ると寿命が縮む?世代ごとに違う「睡眠時間と死亡リスク」.
デイリー新潮, 2024年4月1日 Web <https://www.dailyshincho.jp/article/2024/04011056/?all=1>